

1次診療病院における 下痢治療の現状

動物用止瀉剤、整腸剤のスクリーニング剤としての活用法

ACプラザ苅谷動物病院

葛西橋通り病院 白井活光
明治通り病院 苅谷和廣



Katsuaki Shirai, D.V.M., Ph.D.
ACプラザ苅谷動物病院
院長。日本臨床獣医学フォーラム理事。日本大学卒業後、同大大学院にて免疫学分野で博士号取得。98年にACプラザ苅谷動物病院入社、01年より三ツ目通り病院院長。09年8月より葛西橋通り病院院長を兼任したのち、10年4月より現職。



Kazuhiro Kariya, D.V.M., Ph.D.
ACプラザ苅谷動物病院
院代表。明治通り病院
院長。日本臨床獣医学
フォーラム名誉会員。日
本大学を卒業後、日本獸
医畜産大学（現 日本獸
医生命科学大学）にて獸
医学博士号取得。74年に
苅谷動物病院創業、現在に
至る。

はじめに

前号（本誌No.128、p.12～19）では、臨床現場における下痢治療のアンケート調査を行い、どのような薬剤が下痢治療に用いられているのかを紹介した。また、病態と薬物の関係を示し、動物用止瀉剤と整腸剤の併用により早期回復が確認された論文を紹介した。

本稿では下痢治療薬の使用法について紹介する。実際の臨床で止瀉剤を選択するか、整腸剤を選択するか、それらの臨床的メリットおよびデメリットも考察したい。

止瀉剤？整腸剤？どちらを選択しますか？

1. 急性下痢

前号でも述べたが、下痢では複数な要因が関連しあって症状を呈するため、根本的な原因を確定することが必要となる。そこで当院では、他の重大な基礎疾患を除外診断したあとに、糞便検査で異常がなければ止瀉剤と整腸剤を用い、原因のスクリーニングも同時に

行っている。

急性下痢では、タンニン酸ベルベリンや乳酸菌などが第一選択薬となることが多い。当院においても、これらの薬物を含む止瀉剤（ディアバスター錠）と整腸剤（ビオイムバスター錠）を第一選択薬としている。これらの併用使用は臨床試験において完治率が約97%と確認されており、単純性下痢はほとんど完治すると思われる（本誌No.128、p.12～15参照）。よって、効果がみられない場合は、単純性下痢以外の他の疾患が疑われ、スクリーニング的な診断に用いることができる。しかし、従来の自家処方薬は、その有効性が臨床試験等で確認されておらず、単純な下痢に対する効果が不明確であることから、完全に単純な下痢を排除することができず、スクリーニング的に使用することは難しい。また、止瀉剤と整腸剤のこのようなスクリーニング的な使用は、次の治療へのアプローチを早くすることができ、臨床上のメリットは大きいと思われる。

効果が得られた場合の対処

併用した臨床試験では、完治に至るまでの日数が2.75日（プラセボ4.75日）であったことから、止瀉剤

Key Points

- ①動物用止瀉剤と整腸剤の併用による臨床効果は97%（完治率）であり、急性下痢はほとんど完治した。よって、両製剤の併用により効果がみられない場合は、単純性下痢以外の他の基礎疾患が疑われ、スクリーニング的に用いることができる。
- ②止瀉剤と整腸剤は、急性下痢を対象としたものであり、すべての下痢症に対して相乗効果が期待できるものではない。感染性下痢や慢性腸疾患では、止瀉剤よりも基礎疾患に対する治療剤や整腸剤が用いられる。

は5～7日投薬を行い、経過観察を行う。また、完治後も正常な腸内細菌叢を維持するため、整腸剤は14日間を目安に処方している。

効果が得られなかった場合の対処

単純性下痢と判断せずに、各検査を積極的に追加する。特に当院では、全身的なスクリーニング検査、腹部エコー検査、内視鏡検査を用いた慢性腸疾患などの鑑別を積極的に行ってい。

2. 感染性下痢、慢性下痢

前号で紹介した「ディアバスター錠」と「ビオイムバスター錠」の臨床試験は犬の急性下痢症を対象としたものであり、すべての下痢症に対して相乗効果が期待できるものではない。下痢ではすぐに止瀉剤を投与しがちであるが、下記のようなケースに対しては基礎疾患の治療薬に加え、乳酸菌の整腸剤を処方している。

感染性下痢

パルボ・コロナ・ロタウイルス、キャンピロバクター、サルモネラ菌、ジアルジア、トリコモナス原虫、回虫・鞭虫などの感染性下痢に対しては、インターフェロンや抗生物質、抗寄生虫薬などが投与される。しかし、これらの対症療法により症状が改善されても腸内細菌叢のバランスは崩れた状態であり、下痢の重篤化や慢性化、再感染の恐れがある。これは原因となる病原体が腸管内を占拠することで、有害菌（悪玉菌）も増殖し、腸内pHがアルカリに傾き、結果、持続的な下痢を呈する。このような場合には、腸内pHを酸性に補正し、腸内環境を正常化する乳酸菌製剤の長期投与（14日間）が推奨される。蠕動運動を抑制する止瀉剤は、病原体の排泄を遅延させるといわれており、推奨されない。

慢性下痢

感染性下痢と同様に、慢性の下痢症に対しても乳酸菌製剤の有効性が確認されている。2008年に公表された論文 (Heilpern D, Szilagyi A. Manipulation of intestinal microbial flora for therapeutic benefit in inflammatory bowel disease: review of clinical trials of probiotics, prebiotics and synbiotics. Rev Recent Clin Trials. 3:167-184, 2008) では、嘔吐や下痢が3週間以上続き、病理診断で炎症性腸炎と診断された犬（細菌感染や寄生虫検査、食物有害反応を除外）12頭に対し、グルココルチコイドと乳酸菌製剤の併用効果が検討されている。グルココルチコイドは2.0mg/kgを2週間投与し、以降7日ごとに1.5mg、1.0mg、0.5mg/kgと減量を行った。その結果、8頭で治療効果が持続し、グルココルチコイドの減量あるいは休薬が可能だったというものである。慢性下痢による腸内細菌叢異常の改善や、腸管免疫力の調整作用などが、この報告における乳酸菌製剤の効果として考えられる。また、炎症性腸炎では腸管絨毛細胞の栄養素の消化吸収機能が低下して全身の栄養状態が悪くなっている、ビオイムバスター錠のような乳酸菌と消化酵素剤が配合された製剤は、消化吸収を補助する作用も加わり、慢性下痢に対する有効性が期待できる。

3. その他の下痢（一部）

薬物誘発性下痢

抗生物質やステロイド剤、胃腸薬など薬物が刺激となって起こる下痢では、腸内細菌叢が何らかの影響を受けている可能性が考えられる。乳酸菌製剤の併用は、これらの影響を受ける可能性を低くすると考えられる。

表1 下痢治療薬のメリット・デメリット

	メリット	デメリット
止瀉剤	止瀉作用や鎮痛作用などがあり、即効性がある。早期に症状が回復するため、飼い主の散歩時の糞便処理に対する不安は少なくなる。	持続性は期待できないため、投薬休止により下痢や軟便を再発することがある。感染性下痢に投与した際、治療遅延を起こす可能性がある。
整腸剤	腸内環境の正常化に働き、下痢をしにくくすることができる。安全性が高く、糞便臭の改善も期待できるため、飼い主にとって使いやすい製剤である。	即効性は期待できない。また、整腸剤単独の効果は低いため、止瀉剤との併用が推奨される。また、腸内細菌叢の正常化には時間を要するため、投与期間が長い（約14日間）。
止瀉剤と整腸剤の併用	止瀉剤と整腸剤の異なる薬理作用により、相乗効果が期待できる。臨床的には、即効性と完治率が明らかに改善される。これは、飼い主への説明においても、止瀉剤の即効力、整腸剤の認知度によって理解が得やすい。また、止瀉剤と整腸剤の副作用を相殺できることも、利点である。	投薬量が増え、飼い主の負担が増える。

表2 動物用止瀉剤と整腸剤の併用と院内調合薬の利便性の比較

	動物用止瀉剤と整腸剤の併用	院内調合薬
有効性（完治率）	明確 (臨床効果が示されている)	不明確 (経験的なもの)
即効性（完治までの期間）	明確 (臨床効果が示されている)	不明確 (経験的なもの)
嗜好性	期待できる	期待できない
投与のしやすさ	錠剤であるが、粉末にもできる	多くは粉末のみ
処方された薬剤の内訳（薬剤の透明性）	わかりやすい (成分分量が明確、臨床効果が示されている)	わかりにくい (成分分量が不明確)
処方	しやすい（PTP包装）	しにくい（調合、分包）

子犬・子猫の単純性下痢

子犬および子猫の単純性下痢には乳酸菌製剤を必ず併用する。ヒトでは離乳時に腸内ビフィズス菌などの有用菌が減少し、乳幼児下痢症が多くみられる。医療分野では腸内細菌叢の正常化を促すとともに、乳酸菌により產生される酸により腸内pHを低下させ、有害菌が増殖し難い環境をつくる目的で乳酸菌製剤が投与される。子犬や子猫の下痢に対する整腸剤の有効性が検討された文献等はないが、ヒトと同様に有効性が期待できる。

さいごに

表1に止瀉剤と整腸剤のメリット、デメリットをまとめた。主観的な意見も入っているが、メリットとデメリットを整理すると、飼い主に対して説明しやすく、インフォームド・コンセントの充実につながると思われる所以、表2の動物用止瀉剤と整腸剤の利便性も一緒に参考にしていただければ幸いである。

2号にわたって下痢治療の実際について述べた。下痢は頻繁に遭遇する症状ゆえに重要視しにくい症状であるが、病態や治療薬の薬理作用、製剤の特徴を改めて理解したうえで使用する薬剤を選択すべきだと思われる。